

事業所における自己評価結果

公表：令和元年12月26日
事業所名：子どもの家エラン

職員回答数7名 回収数7名 割合100%

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	運営基準を守るだけでなく、一人一人に適切な支援ができるような定員数とスペースの確保を考慮しています。	引き続き、適切な発達支援が行えるような定員数とスペースの確保を考えていきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	86% (6)	14% (1)	0% (0)	今年度は、専門職員(心理)の加配の配置を行っており、実際の支援においても丁寧な支援が行えるような配置をしています。 通園クラスでは園生活を送る上で、同じ空間の中にエリアが分かれています。必ず職員が目届くようにプログラム作りの上でも職員配置が実際の支援においても適切に検討しています。	引き続き、適切な配置を行っていますが、より良い支援を検討する中で足りないと感じることもあるので、運営の工夫によって改善し、より良い支援に繋げて参ります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	<活動毎にエリアを分ける>、<各児童ごとにアイコンを決め、ロッカーやタオル掛けにはそのアイコンをつける>、<おもちゃの箱には何を入れるか写真を貼って示す>など、お子様に理解しやすい環境設定を心がけています。 また、全ての支援クラスの振り返りを行う際に、<お子様がわかりやすい空間になっているか>、<安全性は確保されているか>、<発達年齢にあった空間・設備になっているか>などの視点も含めて振り返りを行っており、課題が見つかった場合はすぐに変更しています。	今後もPDCAサイクルを行いながら、お子様やご利用いただく方にとって、わかりやすい環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	清潔な環境を維持できるように毎日掃除を行なっています。	館内空間が一般的な事業所よりも広いので、掃除に時間がかかり支援の準備時間とバランスに運営面での課題を感じています。業務の効率化を行いつつ、清潔であり、支援の行き届いた場となるよう努めています。
業務改善	5 業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎回、全ての支援クラスの振り返りを職員がチームで参加して行い、当日のヒヤリハット、各児童の様子や改善点などについて共有し、課題点があればすぐに今年度は、専門職員(心理)の加配の配置を行っており、実際の支援においても丁寧な支援が行えるような配置をしています。 通園クラスでは園生活を送る上で、同じ空間の中にエリアが分かれています。必ず職員が目届くようにプログラム作りの上でも職員配置が実際の支援においても適切に検討しています。	引き続き、情報の共有が徹底できるような運営を心がけて参ります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	72% (5)	0% (0)	28% (2)	昨年度の保護者向けアンケートでの内容を受け、良い評価は維持・向上を心がけた運営を行いました。また、改善点の多くはすでに行っていますが、保護者様に十分に把握されていないことがあったので、その点について配布物や説明の機会を前年度より増やすようにしました。	保護者様に関して意向の把握・業務改善は行っているにもかかわらず、その事実を職員内で十分に周知できていない事が今回の結果で明らかになったため、職員への周知をしっかりと行なって参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	57% (4)	29% (2)	14% (1)	事業所のホームページにて公開されております。	事業所のホームページにて公開されておりますが、その事実を職員内で十分に周知できていない事が今回の結果で明らかになったため、職員への周知をしっかりと行なって参ります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14% (1)	72% (5)	14% (1)	定期的に専門的なSVを受ける中で、第三者視点で利用者の状態・支援方法の評価・助言は受けておりますが、正式な第三者評価という形では行っておりません。	第三者評価を現在行っていないので、今後検討します。また、職員内での情報周知が不十分だったため、改めてこのことについて周知を行なって参ります。
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	年間で、内部研修では、虐待防止・てんかん発作への対応・感染症対応・救急看護・プールでの安全管理・防災訓練・障害特性理解・指定児童発達支援事業に関わる法令研修を行い、外部研修も自治体主催の研修に参加する機会を作っており、必ず内部で共有する機会を設けています。また、業務に必要な研修があれば、推奨したり職員からの提案も受け入れる体制を作っております。	引き続き、安全で適切な支援を提供できるよう研修を通して職員育成を行なって参ります。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	お子様に合わせて各種アセスメントツールを使用しながら、発達支援の内容を検討しております。また、事業所内での様子だけでなく実際の生活場面での様子など、お子様の総合的な育ちを把握し、支援に繋げていくために保護者様との情報共有も大切にしながらか支援計画を検討しております。	引き続き、アセスメントを行いながらお子様と各ご家庭にあった支援計画を作成して参ります。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	57% (4)	29% (2)	14% (1)	標準化されたアセスメントツールは使用しておりませんが、お子様の生活状況など保護者様の聞き取りと活動時の様子のインフォーマルアセスメントを行いながら支援方法を考えております。	インフォーマルな評価は行っていますが、Vineland IIは一部の方のみへの実施にとどまっているため、今後全員に広げられるよう努めて参ります。
	12 児童発達支援計画には「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	72% (5)	14% (1)	14% (1)	全てのお子様にに対して、ガイドラインに基づき、「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容からお子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容で立てることができております。	職員から地域支援についてやや薄いのではないかという意見がありました。ケースに応じて、地域支援が必要な場合には積極的に参ります。
関係機関や保護者との連携	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	日々の内容は記録し、定期的に支援計画の内容に対して支援の進捗がないか確認し、支援を行っております。また、当初立てた計画に対して現状の様子が変わった場合は、必ず保護者様に報告させていただきます。	引き続き、支援計画に沿った支援が行われるよう努めて参ります。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	準備や振り返りなど役割分担しながら、複数の職員で把握し、支援プログラムを考えています。	引き続き、活動プログラムの立案をチームで行う事で、お子様にとって良い支援が行われるよう努めて参ります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは、毎月個別の目標だけでなく、グループ目標・活動計画を立てています。 曜日によってプログラムの流れを変えたり、お子様の状況によって臨機応変にプログラム内容に対応しています。	引き続き、活動プログラムが固定化しないよう工夫して参ります。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	お子様全員に必ず個別と集団の活動時間と支援内容を考え、組み合わせながら支援をさせていただきます。 通園クラスは、お集まり・拿手グループでの運動・リズムあそび・工作・テーブルゲーム・お楽しみ・公園遊びなどの集団活動、自立学習・先生と1対1での学習・お当番活動(昼食場所のセッティング)などの個別活動を組み合わせ、支援計画・クラスプログラムを作成しています。	引き続き、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら支援計画を作成するよう努めて参ります。
関係機関や保護者との連携	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎回事前ミーティングを行い、プログラムや職員配置について確認しています。新しい取り組みを始める場合やお子様の対応を変更する場合も、クラスに入る職員全員が情報を共有しています。	引き続き、打ち合わせを行い、お子様が安全に活動でき、充実した支援が行われるよう努めて参ります。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	通園クラスは(当日)、通所クラスは次のクラスの前日までに、クラスの振り返りを行い、安全面での配慮や支援全体の改善点について共有して次のプログラムに活かせるような体制を整えています。	引き続き、支援終了後に漏れなく情報共有する体制を作りながら、より良い支援が行われるよう工夫して参ります。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	86% (6)	14% (1)	0% (0)	振り返りの会議時に話された内容はグループ全体・個別共に記録しております。	最低限の記録は行っていますが、細かい部分で取り切れない箇所もあるため、今後細かな記録も実施できるよう運営上の工夫を検討して参ります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	必ず6ヶ月以内に1回は、保護者様とモニタリングの面談を行い、その内容を踏まえて次の児童発達支援計画を作成しています。アセスメントを元にお子様の成長の様子と生活場面での現状についても把握し、総合的に考えた計画になるよう行っております。	引き続き、定期的なモニタリング面談を実施させていただきます。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86% (6)	0% (0)	14% (1)	実施しております。	実施の報告は職員全体に行なっておりますが、伝達もれもあつたため、今後周知を徹底するよう努めて参ります。
	22 母子保健や子ども、子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	57% (4)	43% (3)	0% (0)	今年度は連携を必要とするケースはありませんでしたが、必要に応じて連携した支援を行う体制がございます。また、自治体の保健所に協力を求め、研修を行ったり、機関の会議が行われる予定があれば、できる限り参加するようにしております。	引き続き、関係機関と連携した支援体制の構築を図って参ります。また、アンケート結果から職員の認知度が低いことが伺えましたので、職員への周知を徹底するよう努めて参ります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14% (1)	14% (1)	72% (5)	該当していません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0% (0)	14% (1)	86% (6)		
関係機関や保護者との連携	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	必要に応じて(保護者様のご依頼の上)、支援に必要な情報の提供を行っております。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	29% (2)	57% (4)	14% (1)	就学支援シートの作成を通して学校への情報提供を行っております。 必要に応じて、会議などに参加する体制がございます。	現状、学校との会議が必要なケースがなかったため、「相互理解」に関しては未達成のため、左記の結果となっております。引き続き、就学支援シート等を通して必要に応じてお子様の支援が円滑に行われるような協力体制を維持して参ります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	86% (6)	14% (1)	0% (0)	自治体のセンターには職員の実習を受け入れていただいたり、OJT研修の参加や助言をいただいております。	積極的に連携を行なっている現状がありますが、職員間で周知されていなかったため、今後はその機会が全員得られるようにして参ります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	保育所や認定こども園、幼稚園等に通われているお子様の通園クラスでは、近隣保育園との交流を企画し、園庭で保育園の児童と一緒に遊ばせてもらう機会を作っています。	引き続き、必要に応じて機会を作って参ります。

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	28% (2)	57% (4)	14% (1)	自治体で開催している児童発達支援事業所情報交換会に毎回参加しております。	本問の「子ども部会・子育て会議」と実際行われている会議が同一のものでないとの認識が職員の中であったため、職員への説明・周知をして参ります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	保護者様が迎えされていない場合は、毎日連絡帳を通じてコミュニケーションが取れるようにしています。また、保護者様には月に1回以上の親子登園日を設け、お子様の活動の様子を知っていただいたり、ご家庭での様子から支援のニーズについて伺う時間を作っています。送迎で毎回お会いできる保護者様には、必ず伝え合う時間を設けています。	引き続き、保護者様とお子様の様子について伝え合う時間を作って参ります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎年、勉強会を1回とペアレントプログラムを1回予定しております。	引き続き、保護者様のニーズにあった支援プログラムを提供できるよう企画させていただきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	契約時に丁寧に説明をさせていただいております。変更があった場合についても、書面をお渡ししながら直接説明させていただいたり、ご質問にもお応えしております。	引き続き、丁寧な説明を心掛けて参ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	支援計画は、児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様一人一人に合わせた内容を作成させていただいております。また、作成した際には直接ご説明させていただき、変更の申し入れについても対応させていただきます。	引き続き、適切な支援計画の作成と保護者様へのご説明をさせていただくよう努めて参ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎回送迎できない保護者様には、毎月面談の機会を設定しております。基本的ないつでもご相談できるような体制を整えております。面談時間以外にも、ご質問いただいた際にはその場でお答えしたり、共に考えて助言や支援を行うように心掛けております。すぐに解決できない課題もございますので、保護者様の悩みを一緒に考えていけるように、活動の中で出来る方法を考えてプログラムに反映しております。	引き続き、ご相談に対し、適切で具体的な助言や支援を行う事ができるよう、専門性の向上についても努めて参ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	72% (5)	0% (0)	29% (2)	保育園や認定こども園、幼稚園等に通われていないお子様対象の通園クラスは、年4回親子参加のイベント(親子調理会2回・クリスマス会・成長を祝う会)を企画させていただいております。保育園や認定こども園、幼稚園等に通っている通所クラスは、年2回親子参加のイベント(クリスマス会・成長を祝う会)を企画させていただいております。年2回の保護者勉強会も交流できる機会として計画させていただいております。	引き続き、保護者のニーズをお聞きしつつ、楽しく参加いただける内容を企画して参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86% (6)	0% (0)	14% (1)	前年度は保護者様が事業所に気を使って、面談を申し込みにくい様子がありましたので、今年度は待合室に相談の申込みについての案内をおくなどとして、必要な方は申し込みいただきやすいように工夫しております。	引き続き、お子様と保護者様の状況やご相談に対して、速やかに対応できるように努めて参ります。また、職員への周知をして参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎月、「エラン通信 はばたき」というお知らせを発行して、活動予定や活動報告、子育てに関する情報などを発信しています。通園クラス・通所クラスなど分けて作成することにより、事業所全体の様子が利用者様にわかるようにお伝えしています。	引き続き、エラン通信「はばたき」や書面等のお知らせを活用しながら、活動内容などを把握していただけるよう努めて参ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	書類は鍵のかかるキャビネットに保管するなど、紛失や漏洩等の事故が起こらないよう日々努めております。	引き続き、個人情報の管理については徹底して参ります。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86% (6)	14% (1)	0% (0)	お子様・保護者共に、口頭だけでなく視覚化(イラスト・写真・文字)したものをお渡しするなど、同じ情報でも、対象者様に合わせて情報提供を行っています。	引き続き、お子様と保護者様との円滑なコミュニケーションが出来るような配慮を心掛けて参ります。十分でないところもあらためて改善できるよう日々努めて参ります。	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14% (1)	86% (6)	0% (0)	地域住民の方を招待させていただく行事は、現在運営体制やセキュリティ面などを考慮し、行なっておりません。ご近所の方には、建物周りの掃除をしている際にご挨拶をさせていただくなど日頃の関係の構築をしております。	今後必要に応じて、地域住民を巻き込むことを前提としたイベントなど企画できる可能性を検討して参ります。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	各種マニュアルを作成しております。年間の研修の中で、現状の様子から改訂した方がよいことなど意見を出し、常に現状にあった内容に更新するようにしております。	引き続き、マニュアルの整備を図るとともに、実際の場面で活用できるように研修や周知を徹底して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	月に一度、地震・洪水・火事などを想定した避難訓練を行っています。	引き続き、訓練を実施して参ります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	契約時に記入していただく情報シートの中で確認させていただいております。対応が必要な内容がある方には個別に保護者様とご相談し、対応させていただきます。	引き続き、お子様の健康・安全に関する情報は職員間での周知を徹底し、対応させていただきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	28% (2)	28% (2)	43% (3)	お子様全員のアレルギーの有無については把握しております。また、食事提供する際にはその都度保護者様に確認させていただいております。医師の指示書が必要な方は現在いらっしゃいませんが、必要に応じて対応させていただきます。	引き続き、個別に対応させていただくよう努めて参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	57% (4)	43% (3)	0% (0)	毎日ヒヤリハットについて記録をしていますが、そのみの事例集は作成しておりません。	記録フォーマットの工夫により、職員が注意すべき点が見やすい形で記録するよう改善して参ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100% (7)	0% (0)	0% (0)	毎年、虐待防止の外部研修への参加をしています。また、内部でも年に1回以上虐待防止に関する研修を行い、支援者としての倫理観についてや制度上の知識など共有する機会を作っております。	引き続き、職員研修を行いながら、あらゆる事例に適切に対応できるような体制を整えて参ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	43% (3)	14% (1)	43% (3)	身体拘束を行う場合は、必ず保護者様に確認し了解を得るようにしております。突発的にそのようなことがあった場合も、保護者様に状況の説明や今後の対応についてご相談しながら方針を決定するようにしております。	今回のアンケートを実施した際に、身体拘束の細かな定義が職員間で曖昧なことが確認できましたので、再度、定義と情報共有を行うよう取り組んで参ります。